

* 下線の斜字体部は、追加した部分。

平成24年4月16日
日本薬剤師会 常務理事
森 昌平

「薬剤師として求められる基本的な資質」(たたき台)に関する修正案

豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の専門家としての責任を持ち、人の命と健康な生活を守ることを通して社会に貢献する。
6年卒業時に必要とされている資質は以下の通りである。

(薬剤師としての心構え)

薬の専門家として、豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識をもち、薬剤師の義務、医療倫理及び法令を遵守するとともに、人の命と健康な生活を守る使命感・責任感を有する。

(患者・生活者本位の視点)

患者およびその家族の秘密を守り、~~薬剤師の義務、医療倫理及び法令を遵守するとともに~~、常に患者・生活者の立場に立って、これらの人々の安全と利益を最優先する。

(基礎的な科学力)

生体および環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。

(コミュニケーション能力)

患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。

(医薬品の供給)

地域に必要とされる医薬品を、必要時に適正に供給するための知識・技能・態度を有する。

(薬物療法における実践的能力)

薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、一般用医薬品の供給、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。

(地域の保健・医療・福祉における実践的能力)

地域の保健、医療、福祉、介護および行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、QOLの向上、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。

(チーム医療への参画)

医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる。

(医療財政への貢献)

限られた医療資源を効率的に使用して、医療財政に貢献するために適切な行動をとる態度・能力を有する。

(研究能力)

薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する。

(自己研鑽・専門性の涵養)

薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。

(教育能力)

次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。